

1月 日本共産党県議団 臨時議会ニュース です

毛利栄子議員の1月臨時議会の補正予算案に対する質疑の答弁の要旨を紹介します。全文はホームページの[議会の様子](#)からご覧いただけます。



＊ ＊ 中小・小規模事業者の賃上げ支援について ＊ ＊

毛利 国の「業務改善助成金」に県の補助金を上乗せして賃上げを応援する予算だが、中小・小規模事業者にとっては申請そのものがハードルが高く利用しにくい。補正予算編成にあたり、国の助成金活用を前提とせず、県が直接支援する等、より実効性のある仕組みについて検討されたのか。

産業労働部長 県の直接補助は一定期間の成果はあるが、補助金が終了すると効果も持続しない課題感がある。一過性ではなく中小企業の付加価値を向上させ、持続的な賃上げ原資の確保に繋げることが効果的と考え、企業の今後の成長に資する仕組みとした。

＊ ＊ 病床数適正化支援事業について ＊ ＊

毛利 病床のダウンサイジングが行われた場合に給付金が支給される「病床数適正化支援事業費」が計上されているが、支給手続きや1病床あたりの給付金が大きくなっている背景について伺うとともに、地域医療への影響はないのか伺う。

健康福祉部長 今般の医療需要等の急激な変化に対応するため、病床を削減する医療機関に対し、1床410万4000円を緊急的に支援するものである。本事業を地域における効率的で質の高い医療提供体制の構築のため、地域医療への影響を考慮しながら進めていく必要があると認識しており、確認しつつ取組を進めていく。

＊ ＊ 森林・林業施策について ＊ ＊

毛利 森林・林業施策をより推進させるためには川上、川中、川下が有機的につながる施策が必要。森林・林業施策の推進にあたり、どのような位置づけで本補正予算が提案されたのか。

林務部長 県土の約8割を占める森林について、森林資源の多くが利用期を迎えており、循環利用を図ることが必要。県産材の生産から加工に至る体制の整備とともに、不足しているチップ等の木質バイオマス供給施設の整備に対し、支援をしていく。

＊ ＊ 防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策について ＊ ＊

毛利 補正額の約8割が国の「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」を活用したもののだが、県民からは、防災・減災とともに道路や河川の維持・補修・管理により力点を置いた施策を実施してほしいという要望が多数寄せられる。本補正予算において、それらの進捗は加速されるのか、所見を伺う。

建設部長 本対策予算を最大限活用し、道路・河川・砂防等の老朽化対策を計画的に推進しており、今回の補正予算によって道路橋や砂防施設の補修、ダム等の河川管理用設備の更新等、必要な対策が手遅れとならぬよう、加速化・深化されるものとする。

